

新城市の将来に関する 中学生アンケート調査

結果報告書

平成 26 年度

新 城 市

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 本報告書における注意事項	1
第1章 回答者の属性	2
1. 性別	2
2. 住まいの地区、小学校区	2
第2章 定住について	4
1. 定住意向	4
2. 定住対策	6
第3章 地域活動への参加について	8
1. 地域の行事への参加状況	8
2. 地域の行事への参加意向	9
2-1. 地域活動への参加	10
2-2. 若者の意見を聴く方法	11
2-3. 参加してみたいと思う講演会・イベント等	12
第4章 公共サービスに対する重要度	14
1. 重要度	14
第5章 市のこれからのまちづくりについて	22
1-1. 新都市の将来の姿	22
1-2. 利用したい情報サービス	24
2. 新都市の将来の不安	25
3. 新都市の魅力	27
第6章 新東名高速道路のIC設置による変化について	29
1. 期待すること	29
2. 不安に思うこと	30
第7章 その他 自由記述	31

序章 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、平成 20 年度にスタートした「第 1 次新城市総合計画」に基づき、さまざまな施策を行っており、これまでの評価及び、平成 27 年度から平成 30 年度の後期基本計画の参考とするため、市内の中学校に通学する中学 3 年生全員を対象に、公共サービスの満足度やまちづくりについての考えを把握することを目的とします。

2. 調査方法

本調査の概要は以下に示すとおりです。

- (1) 調査地域 : 新城市内全域
- (2) 調査対象 : 市内の中学校に通学する中学 3 年生
- (3) 対象者数 : 465 人
- (4) 抽出方法 : 対象者全員
- (5) 調査方法 : 校内での配布・回収
- (6) 調査期間 : 平成 26 年 5 月 19 日 (月) ～ 6 月 2 日 (月)

3. 回収結果

アンケートの回収結果は以下に示すとおりです。

配布数	465 票
有効回収数	436 票
有効回収率	93.8% (平成 22 年 : 93.6%、平成 19 年 : 97.0%)

※なお、445 票の回収を得ましたが、うち 9 票は白紙等であったため、無効票として扱い、436 票を有効回収数としています。

4. 本報告書における注意事項

- 図中の構成比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0% になりません。また、クロス集計については、「無回答」を除いて再集計していること、満足率などについては回答項目を一部分、再集計しているため、四捨五入等の関係でグラフ・図中の構成比とが一致しないことがあります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- 回答率の母数は、原則としてその質問の回答者数であり、表、グラフ内では「n=〇〇」と表示しています。なお、クロス集計や満足度については「無回答」を除いているため、市全体、地区別、年齢別での母数が一致しない場合があります。

第1章 回答者の属性

1. 性別

問1 あなたの性別をご記入ください。

◆回答者の性別は、男性が47.5%、女性が52.1%となっています。

○回答者の性別は、男性が47.5%（207名）、女性が52.1%（227名）、無回答が0.5%（2名）となっている。

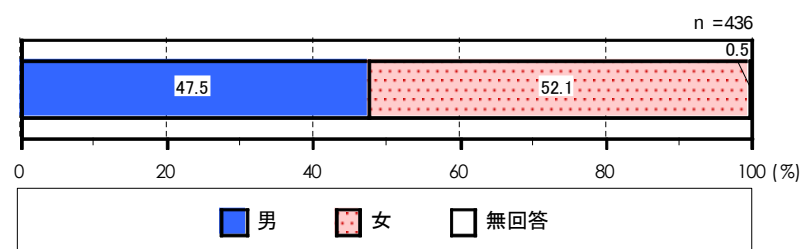


図 1-1-1 回答者の性別

2. 住まいの地区、小学校区

問2 あなたが住んでいる地域の小学校をご記入ください。

◆回答者の居住する小学校区は「千郷小学校区」が多くなっています。

○回答者の居住する小学校区は、「千郷小学校区」が24.8%（108名）で最も高く、次いで「新城小学校区」が14.4%（63名）、「東郷西小学校区」が11.0%（48名）など、以下のようになっている。

○なお、地区別では「新城地区」が72.7%（317名）、「鳳来地区」が20.4%（89名）、「作手地区」が5.3%（23名）となっている。

表 1-2-1 居住小学校区

		回答数	構成比	
新城地区	新城小学校区	63	14.4%	72.7%
	千郷小学校区	108	24.8%	
	東郷西小学校区	48	11.0%	
	東郷東小学校区	41	9.4%	
	舟着小学校区	11	2.5%	
	八名小学校区	39	8.9%	
	庭野小学校区	7	1.6%	
鳳来地区	鳳来中部小学校区	41	9.4%	20.4%
	鳳来寺小学校区	2	0.5%	
	鳳来西小学校区	2	0.5%	
	海老小学校区	3	0.7%	
	連谷小学校区	0	0.0%	
	黄柳川小学校区	9	2.1%	
	東陽小学校区	32	7.3%	
	鳳来東小学校区	0	0.0%	
作手地区	作手小学校区(北校舎)	3	0.7%	5.3%
	作手小学校区(南校舎)	20	4.6%	
	無回答	7	1.6%	1.6%
計		436	100.0%	100.0%

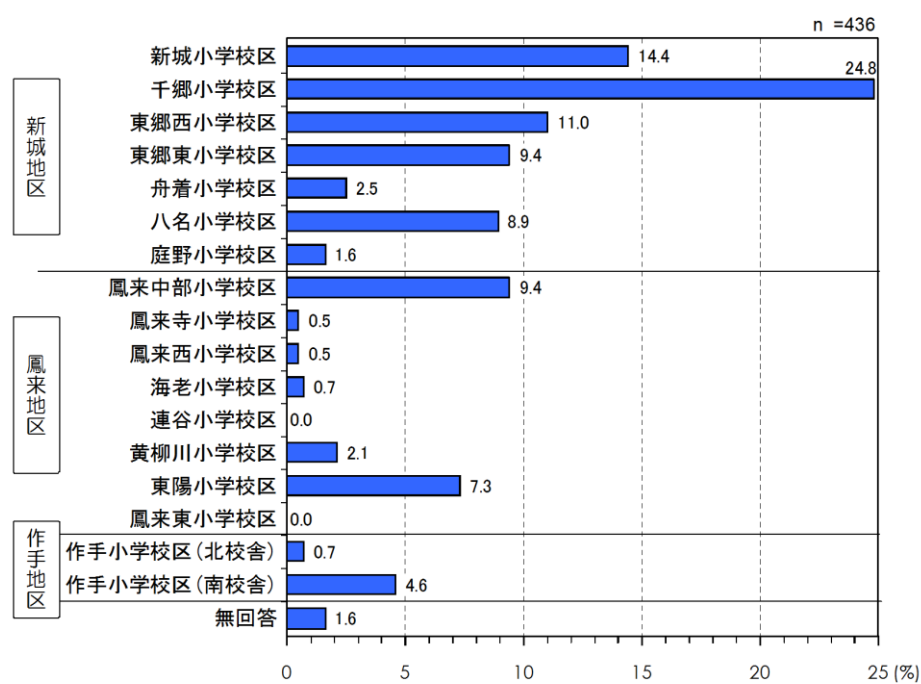


図 1-2-1 居住小学校区 (上記グラフの数値を合計しても各地区の数値にならない)

第2章 定住について

1. 定住意向

問3 あなたは、今後も新城市内に住みたいですか。

あてはまる考えにあう理由に1つだけ○印を付けてください。

◆友人や知人、親せきなどがいて安心して住めるからや豊かな自然に恵まれているからという理由などで、「住みたい」との回答が多くなっていますが、一方でこの地域に魅力的な働く場がないことから移住希望も多くなっています。

○新城市での今後の定住意向に対して、「住みたい」との回答が42.0%、「他の所に住みたい」が30.7%、「その他」が27.3%となっており、定住希望と移住希望が拮抗している。

○しかし、前回調査と比較して、「住みたい」との回答は40.5%から42.0%へと1.5ポイント上昇し、「他の所に住みたい」が41.1%から30.7%へと10.4ポイント減少している。

○「住みたい」と回答した者の理由については、「友人や知人、親せきなどがいて安心して住めるから」が13.6%で最も高く、次いで「豊かな自然に恵まれているから」が13.2%、「家族と一緒に住みたいから」が10.2%となっている。

○「市外へ転居したい」と回答した者の理由については、「この地域に魅力的な働く場がないから」が13.4%で最も高く、前回調査と比較して「この地域に魅力的な働く場がないから」との回答は12.9%から13.4%へと0.5ポイント上昇しており、雇用の場の少なさが移転希望へとつながっている。

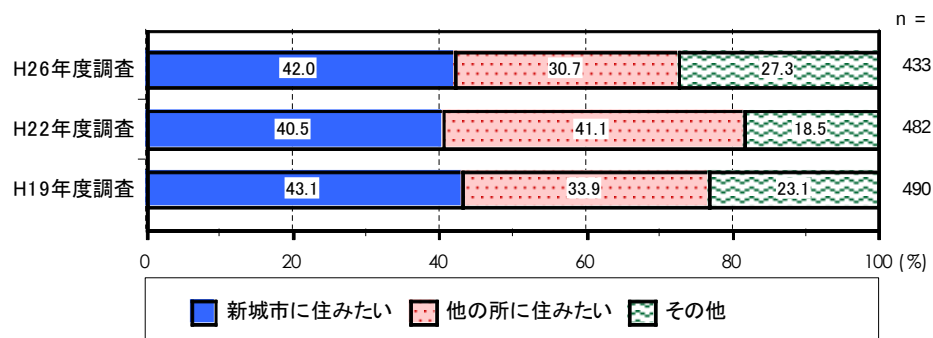


図 2-1-1 定住意向 [無回答を除く集計]

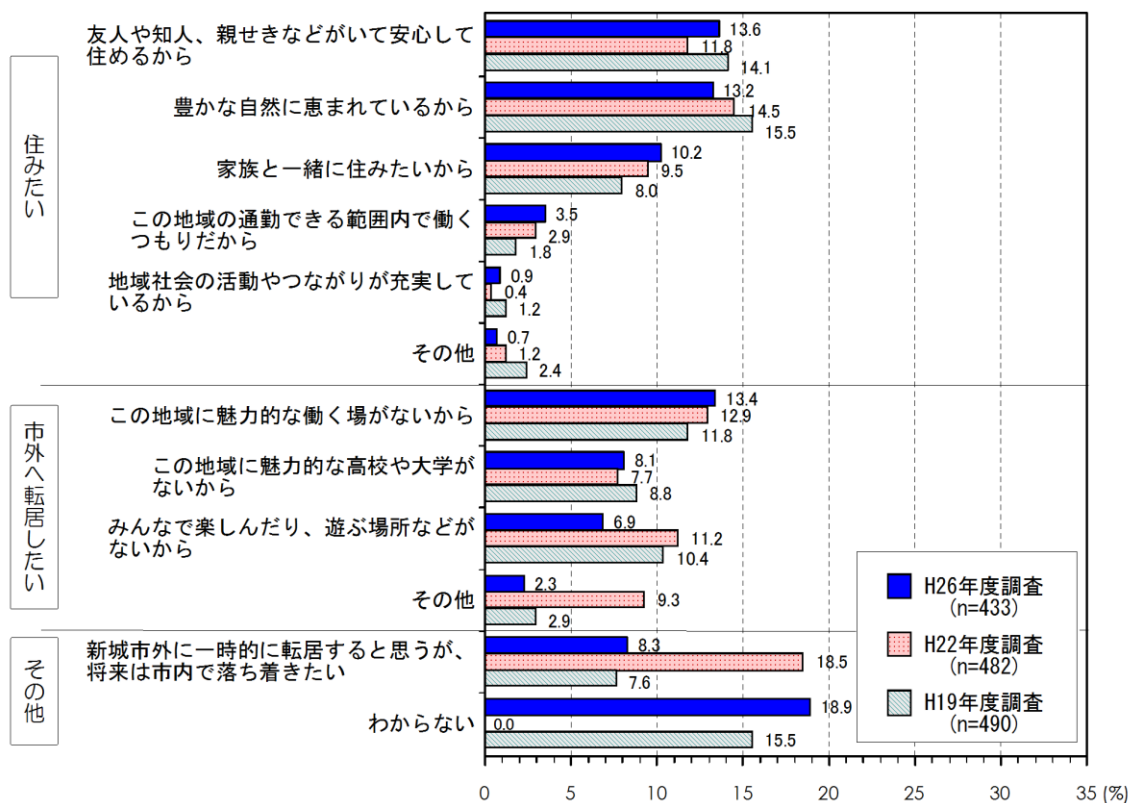


図 2-1-2 定住意向詳細 [無回答を除く集計]

【地区別】

- 新城地区では、「住みたい」の割合が高く、その理由は「友人や知人、親せきなどがいて安心して住めるから」の割合が高くなっている。
- 鳳来地区では、「住みたい」の割合が他地区に比べて低く、「市外へ転居したい」の割合が「この地域に魅力的な働く場がないから」との理由により高くなっている。また「市外に一時的に転居すると思うが、将来は市内で落ち着きたい」という理由も高くなっている。
- 作手地区では、市平均と比べて「住みたい」の割合が高く、その理由は「豊かな自然に恵まれているから」の割合が高くなっている。その一方で「市外へ転居したい」の割合も高く、その理由が「この地域に魅力的な高校や大学がないから」、「みんなで楽しんだり、遊ぶ施設などがないから」の割合が他地区に比べて高くなっている。

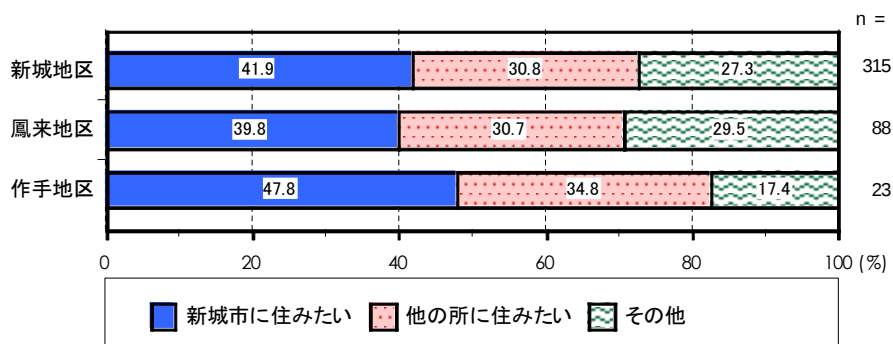


図 2-1-3 定住意向 (地区別 [無回答を除く集計])

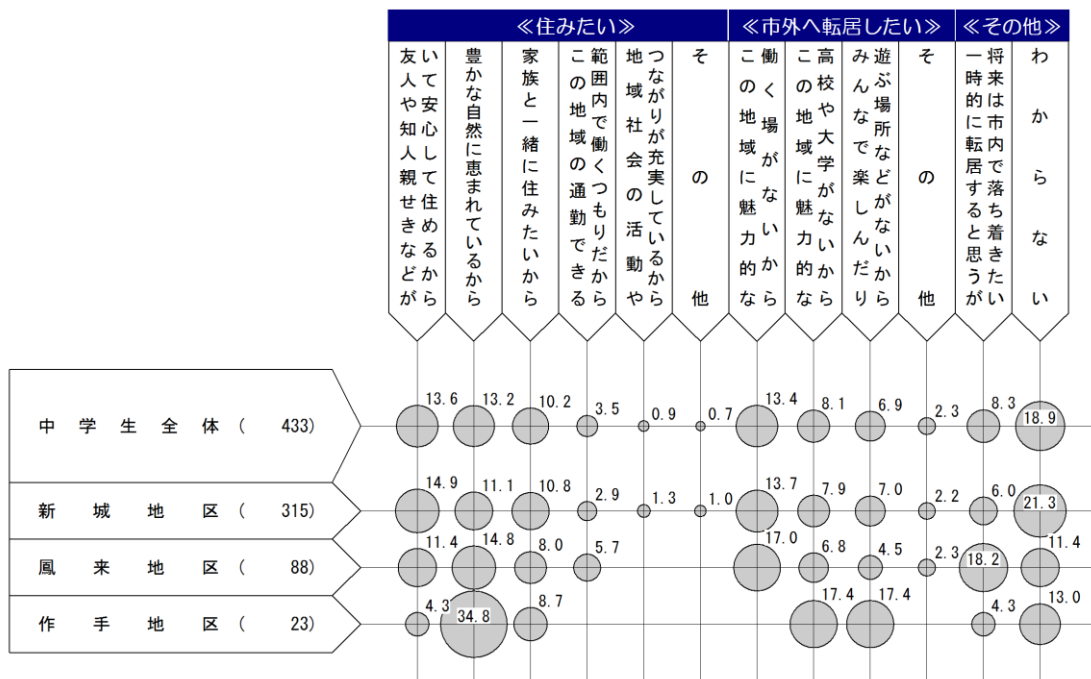


図 2-1-4 定住意向詳細（地区別〔無回答を除く集計〕）

2. 定住対策

問4 新城市に多くの人が住むようにするためには、どのような対策が必要と思いますか。
3つまで○印を付けてください。

◆定住促進施策としては、にぎわいのある施設の誘致や、交通基盤の整備などの利便性などが求められています。

○定住促進のために必要な施策として、「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」が 73.2%で最も高くなっている。次いで「通勤や生活のための道路、バス、電車など交通基盤の整備」が 34.2%、「病院や診療所などの充実」が 31.0%、「若い人やファミリー世帯向けの良好な住宅・宅地の供給」が 28.2%、「子どもの教育環境の充実」が 24.3%と高くなっている。

○前回調査と比較して、「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」は 75.4%から 73.2%へと 2.2 ポイント減少し、「通勤や生活のための道路、バス、電車など交通基盤の整備」も 36.0%から 34.2%へと 1.8 ポイント減少、「病院や診療所などの充実」も 44.0%から 31.0%へと 13 ポイント減少している。しかし、「若い人やファミリー世帯向けの良好な住宅・宅地の供給」は 22.1%から 28.2%へと 6.1 ポイント上昇、「子どもの教育環境の充実」も 18.6%から 24.3%へと 5.7 ポイント上昇、「企業誘致などによる働く場の整備」も 14.9%から 18.6%と 3.7 ポイント上昇しているなど、住環境や教育環境、雇用環境などの充実が求められている。

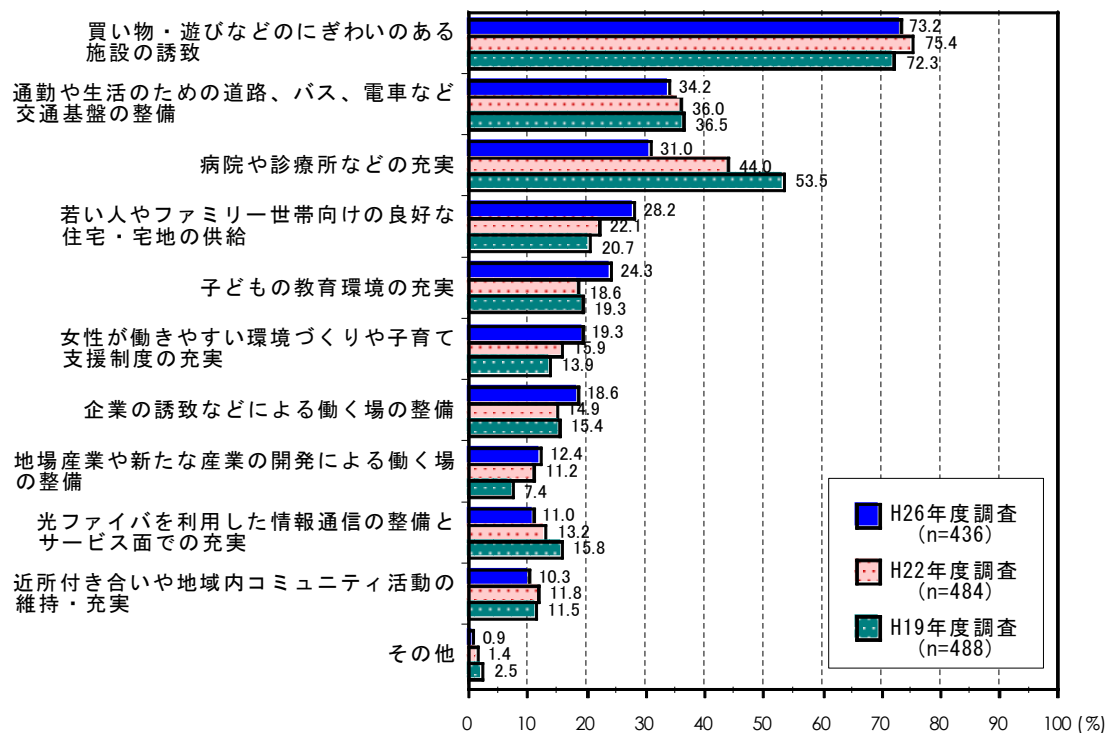


図 2-2-1 定住促進対策〔無回答を除く集計〕

【地区別】

- 新城地区では、「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」との回答が最も高くなっている。
- 鳳来地区では「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」との回答が最も高くなっている。
- 作手地区では、他地区に比べ「通勤や生活のための道路・バス・電車など交通基盤の整備」や「若い人やファミリー世帯向けの良好な住宅・宅地の供給」の割合が高くなっている。

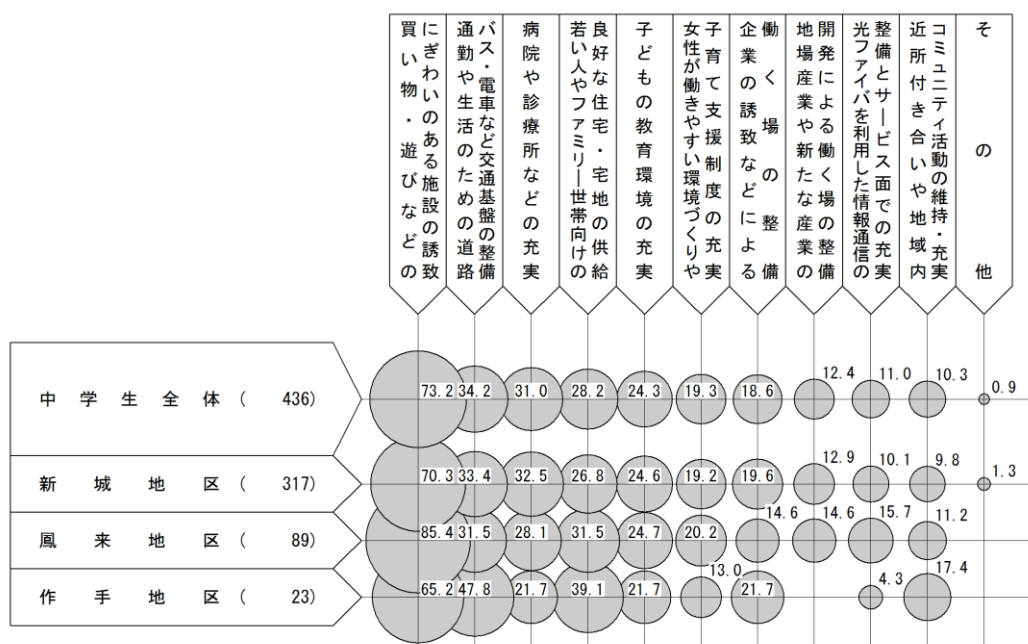


図 2-2-2 定住促進対策（地区別〔無回答を除く集計〕）

第3章 地域活動への参加について

1. 地域の行事への参加状況

問5 あなたは、地域の行事（お祭りなど）に参加していますか。1つだけ○印をつけてください。

◆地域の行事へは74.0%参加しており、参加意識は高くなっています。

○地域の行事への参加状況は、「参加している」が74.0%（322名）で参加状況は高くなっている。しかし「参加したいが、きっかけがないので参加していない」が4.1%（18名）、「参加したいが、時間が取れないので参加していない」が11.3%（49名）となっており、実際に参加している人と参加希望のある人をあわせて89.4%（389名）となっている。

○前回調査と比較して、「参加している」が73.9%から74.0%とほとんど変わらない状況である。

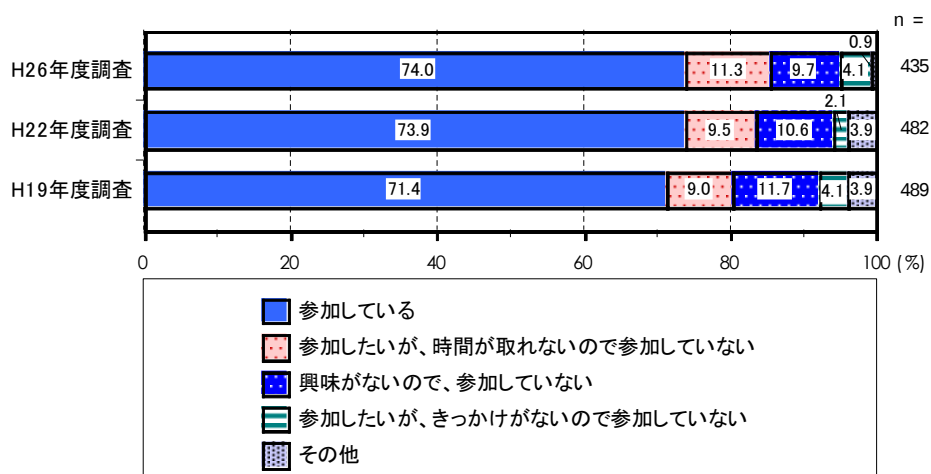


図 3-1-1 地域の行事への参加状況 [無回答を除く集計]

【地区別】

○新城地区では、「参加している」が69.9%と低く、また「興味がないので、参加していない」が12.3%と高くなっている。

○鳳来地区では、「参加している」が86.5%と他地区に比べて高くなっている。

○作手地区では、「参加している」が82.6%と高くなっているが、「参加したいが、時間が取れないので参加していない」も17.4%と他地区に比べて高くなっている。

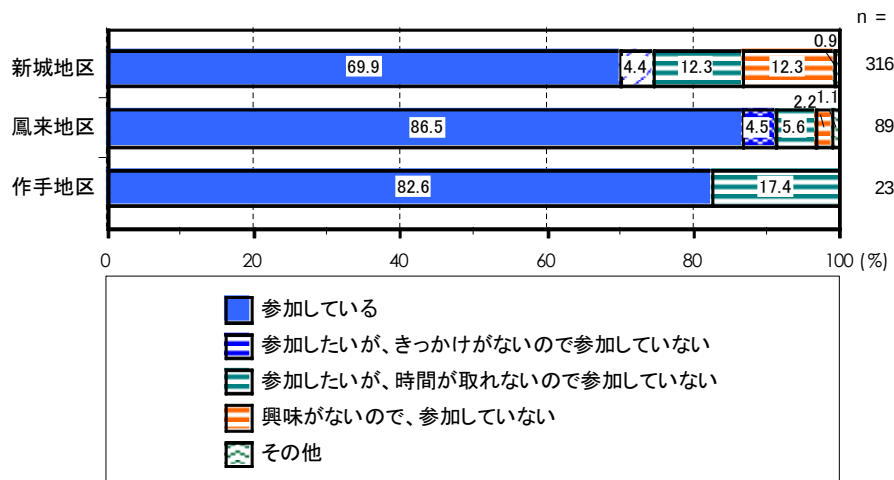


図 3-1-2 地域の行事への参加状況（地域別〔無回答を除く集計〕）

2. 地域の行事への参加意向

問6 地域の行事の中で、あなたが参加・協力していただきたいものはありますか。（現在行っていて、さらに継続して参加・協力したいものも含みます。）
あてはまるものすべてに○印をつけてください。

◆地区でのコミュニティ活動への参加意向が高くなっています。

○参加・協力したい地域の行事としては、「地区で行うコミュニティ活動」が 73.1%（299 名）で最も高くなっている。次いで「地域で行うスポーツや趣味の団体の活動」が 29.3%、「地域の清掃・美化、環境保護の活動」が 28.9%となっている。

○前回調査に比べ、「地区で行うコミュニティ活動」が 30.1%から 73.1%へと 43 ポイント上昇するなど、地区での活動への参加意向は高くなっている。

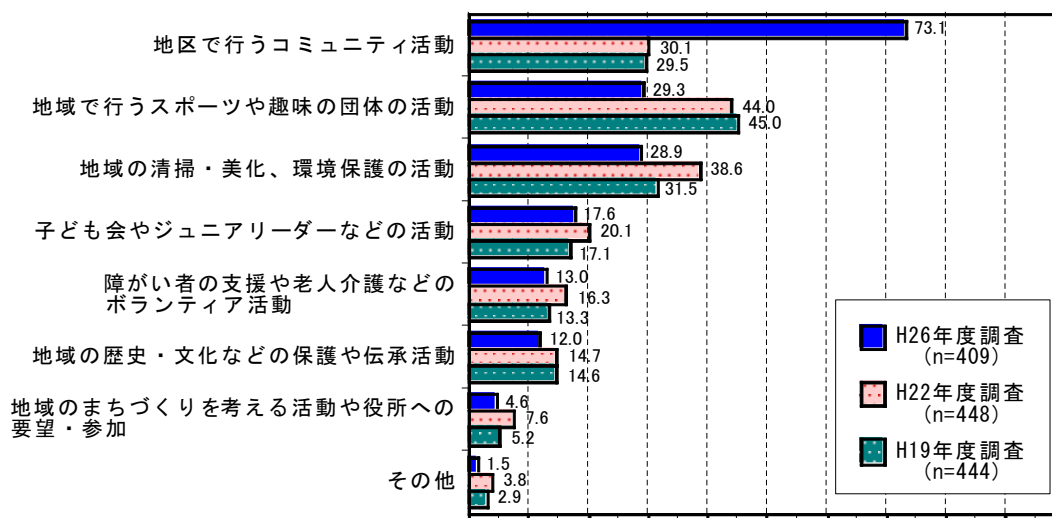


図 3-2-1 地域の行事への参加意向〔無回答を除く集計〕

【地区別】

- 新城地区では、「地区で行うコミュニティ活動」は市全体に比べて低くなっているが、「地域で行うスポーツや趣味の団体の活動」への参加意向は高くなっている。
- 鳳来地区では、「地区で行うコミュニティ活動」の割合が高く、また「地域の清掃・美化、環境保護の活動」や「地域の歴史・文化などの保護や伝承活動」への参加意向が高くなっている。
- 作手地区では、「地域の清掃・美化、環境保護の活動」や「障がい者の支援や老人介護などのボランティア活動」への参加意向が高くなっている。

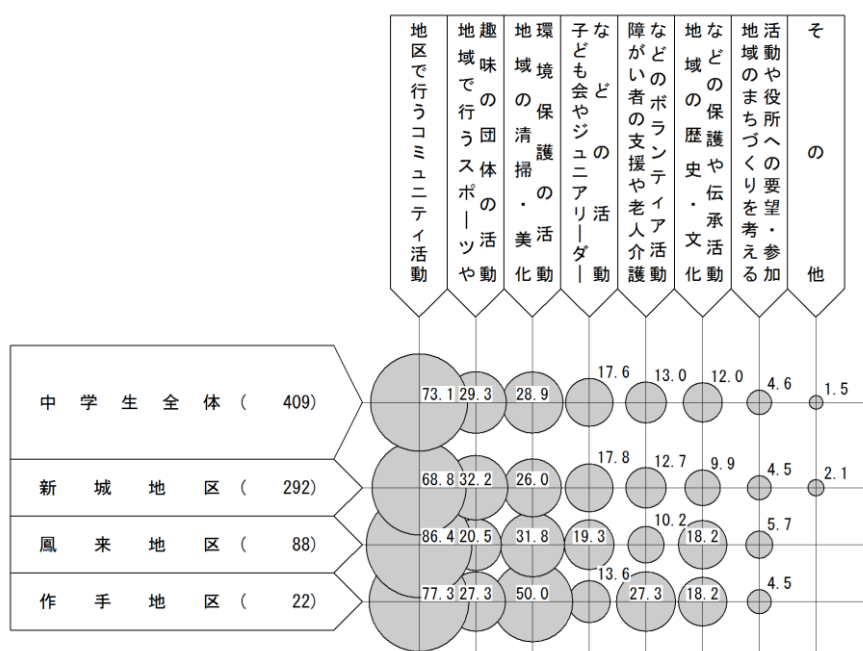


図 3-2-2 地域の行事への参加意向（地区別 [無回答を除く集計]）

2-1. 地域活動への参加について

問 6-1 新城市では、中学生議会など若者の力を活かすまちづくりを進めています。そこで、どのようなサポートがあればもっと地域の行事に参加しますか。
中学生の皆さんの意見をお聞かせください。

- 地域行事に参加を促すサポートとしては、「参加した見返りがあること、行事をPRすること、日程を調整してくれることなどが挙げられている。

表 3-1-1 地域行事参加のためのサポート

		意見数
サ ポ ー ト	参加した見返りがある	46
	行事のPRをする	31
	行事開催の宣伝や呼びかけ	18
	内容や役割などを明確にする	7
	参加したくなるような誘い方	6
	行事の日程を調整してくれる	18

サ ポ ー ト 以 外	行事の回数や種類、場所を増やす	11
	行事に自分が必要とされる(と思える)	10
	学校で呼びかけたり、学校参加にする	9
	他の参加者と気軽に交流できる場づくり	9
	参加のための足や必需品が用意されている	9
	設備、受け入れ人数	5
	第一段階として「今の新城市」について学ぶ	4
	参加に際し、学割がある	3
	計	166
	参加は行事の内容次第	89
	(みんなが)楽しめる行事	39
	盛大、活気のある行事	16
	小中学生向けの行事	9
	行事にお目当てのものがある	8
	出席することで得るものがある	3
	簡単な行事	2
	特色のあるもの	2
	その他	10
	主催者側の意見を聴く姿勢	11
	強制参加にする	4
	サポートがあっても参加しない	3
	計	96
合計		262

※回答は 259 人から 262 の意見がありました。

2-2. 若者の意見を聴く方法

問 6-2 新城市では、若者の意見を聴く機会を作りたいと考えています。どのような方法なら参加したいのか、中学生の皆さんの意見をお聞かせください。

○広聴手段の意見が多く、その中ではアンケートが最も多く、次いで、投書や個人が特定されない方法、SNS などとなっている。

○また、場の雰囲気として、楽しい場、リラックスした雰囲気の間が求められている。

表 3-2-1 若者の意見広聴の方法

		意見数
広 聴 の 方 法	広聴手段	127
	アンケート	66
	投書や個人が特定されない方法	12
	SNS、インターネット	12
	中学生の集まりを催す	10
	学校に市の人が聞きに来る	9
	学校でのアンケート	7
	授業の一環として行う	7
	講演会を行う	4
	場の雰囲気	37
	楽しい	21
	リラックスした雰囲気	16
	参加者	17
	代表者が参加する	9
	誰でも参加できる	4

	友だちと参加できる	2
	議題	14
	参加した見返りがある	12
	発言方法	9
	規模	8
	大人数	4
	少人数、グループ	4
	日程・場所	7
	参加手続きがない、簡単	6
	強制参加にする	4
	その他	5
	計	244
広聴の方法以外	意見のその後	8
	発言した意見が活かされる	5
	意見が共有される	3
	特に策を講じなくても参加する	5
	参加しない	2
	計	15
	合計	259

※回答は 259 人から 259 の意見がありました。

2-3. 参加してみたいと思う講演会・イベント等

問 6-3 多くの若者が参加するような講演会や講座、イベントを開催したいと考えています。
どのようなテーマや講師なら参加しますか。

- 有名人を呼んだ講演会、将来や進路に役立つものが最も多くなっている。次いで、スポーツに関するもの、新城市に関するものなどとなっている。
- またテーマ等は明確ではないが、興味がわくもの、楽しそうなものが多くなっている。
- 講師としては芸能人やスポーツ選手などの有名人を多くの人が求めている。

表 3-3-1 参加してみたいと思う講演会、イベント等のテーマや講師

		意見数
テーマ	テーマが明確なもの	167
	有名人を呼ぶもの	21
	将来や進路に役立つもの	21
	スポーツに関するもの	19
	新城市に関するもの	16
	趣味的なもの	12
	体験型のもの	11
	IT、携帯電話に関するもの	10
	交流ができるもの	8
	日本や社会に関するもの	7
	自然など環境に関するもの	7
	勉強に役立つもの	6
	祭りに関するもの	6
	日本の文化・歴史に関するもの	5
	人間関係、日常生活に関するもの	5
	健康に関するもの	4
	部活に役立つもの	3

	その他のテーマ	6
	テーマが明確でないもの	68
	興味がわくもの、楽しそうなもの	44
	簡単なもの、堅苦しくないもの	8
	ためになるもの	3
	流行っているもの	3
	小中学生対象のもの	2
	賑わいのあるもの	2
	その他	4
	どんなテーマでも参加する	2
計		235
講師	有名人(芸能人・スポーツ選手など)	70
	話がわかりやすく楽しく学べそうな人	11
	同世代など共感が得られる人	5
	自分になりたい職業の人	2
	その他講師になってほしい人	8
	誰でもよい	3
	計	99
その他	参加しない	4
合計		338

※回答は 296 人から、テーマに関することが 235 意見、講師に関することが 99 意見ありました。

第4章 公共サービスに対する重要度

1. 重要度

問7 新城市内の色々な公共サービスについて、あなたはどの程度重要だと思いますか。

○公共サービスに対する重要度を把握するため、「福祉・健康分野」、「教育・文化・生涯学習分野」、「生活・環境分野」、「安全・安心対策分野」、「産業・経済・都市基盤分野」、「総合的分野」の6つの分野において、それぞれ複数の取組項目を設定し、回答者には、各項目について「重要」、「やや重要」、「あまり重要でない」、「重要ではない」の4段階で評価していただいた。

○なお、無回答だった者を除く回答者のうち、「重要」、「やや重要」と回答した者の割合を重要度と定義し、以下ではこの重要度を評価指標として各分野の公共サービスに対する中学生の重要度として分析した。

【分野別】

A. 福祉・健康分野

◆全ての項目で重要度が高く、その中でも特に「子育てを応援するためのサービス」、「高齢者の自立支援や福祉対策」、「地域医療等の充実」が高くなっています。

○全ての項目で重要度が90%以上を示しており、福祉・健康分野について重要と考えている中学生が多くなっている。

○「子育てを応援するためのサービス」に対する重要度が96.5%と、福祉・健康分野の中で最も重要度が高くなっている。次いで「高齢者の自立支援や福祉対策」と「地域医療等の充実」に対する重要度が96.1%となっており、特に「地域医療等の充実」は「重要」と回答した割合が74.0%と高くなっている。

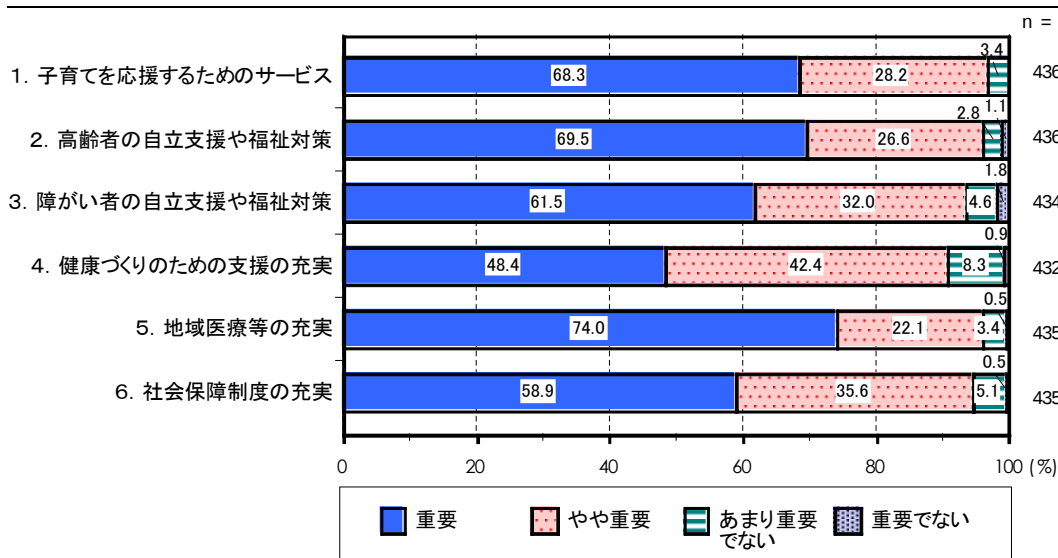


図 4-1-1 重要度（福祉・健康分野 [無回答を除く集計]）

B. 教育・文化・生涯学習分野

◆中学生に身近な「学校教育施設」や「児童・生徒の教育環境対策」への重要度が高くなっています。

○全ての項目で重要度が70%を超えており、特に「学校教育施設の整備」の重要度が93.5%と高くなっている。次いで「児童・生徒の教育環境対策」の重要度が93.1%であり、中学生にとって身近な学校や教育についての重要度が高くなっている。

○一方で、「生涯学習の推進」の重要度が75.0%と他の項目に比べて低くなっている。

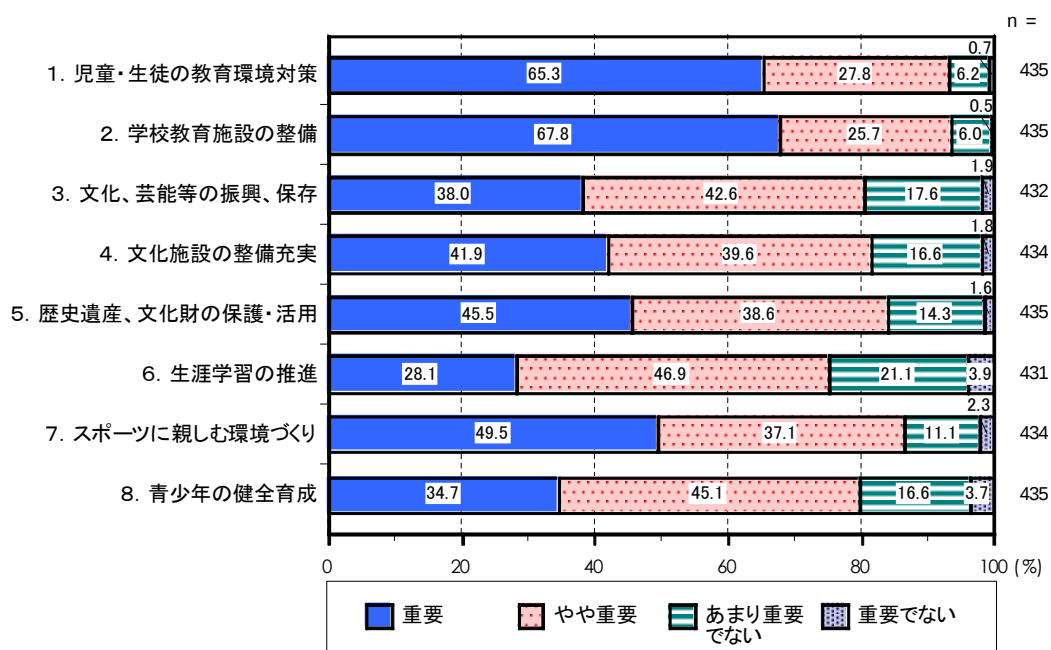


図 4-1-2 重要度（教育・文化・生涯学習分野 [無回答を除く集計]）

C. 生活・環境分野

◆全ての項目で重要度が高く、その中でも特に「環境対策への取り組み」、「安全な水の供給」への重要度が高くなっています。

○全ての項目で重要度が90%以上を示しており、生活・環境分野について重要と考えている中学生が多くなっている。特に全ての項目で「重要」と回答した割合も60%以上となっている。

○「環境対策への取り組み」に対する重要度が96.5%で最も高くなっている。次いで「安全な水の供給」が96.4%、「ごみ、し尿処理への取り組み」が95.9%、「衛生的な下水・雨水の処理」が95.2%と、特に環境面について重要度が高くなっている。

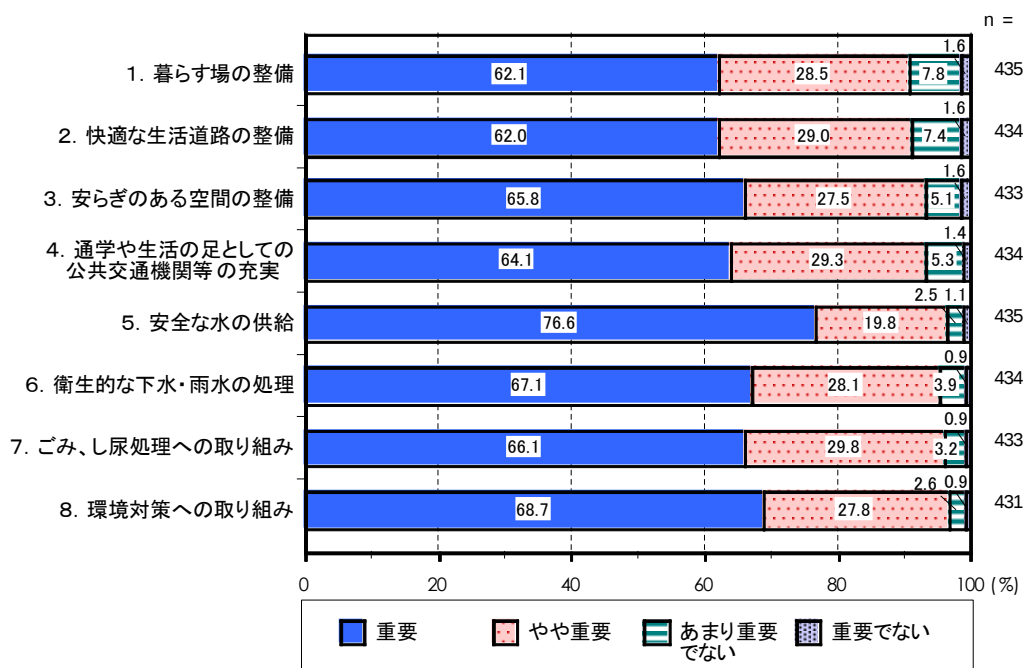


図 4-1-3 重要度（生活・環境分野 [無回答を除く集計]）

D. 安全・安心対策分野

◆全ての項目で重要度が高く、その中でも特に「大地震対策への取り組み」と「消防・救急体制の充実」への重要度が高くなっています。

○全ての項目で重要度が90%以上を示しており、安全・安心対策分野について重要と考えている中学生が多くなっている。特に「大地震対策への取り組み」については、東日本大震災の発生や南海トラフ巨大地震が近い将来に発生することが予想されていることから、「重要」と回答した割合が82.1%と高くなっていると思われる。

○なお、重要度の中では、「大地震対策への取り組み」と「消防・救急体制の充実」が95.4%で最も高くなっている。

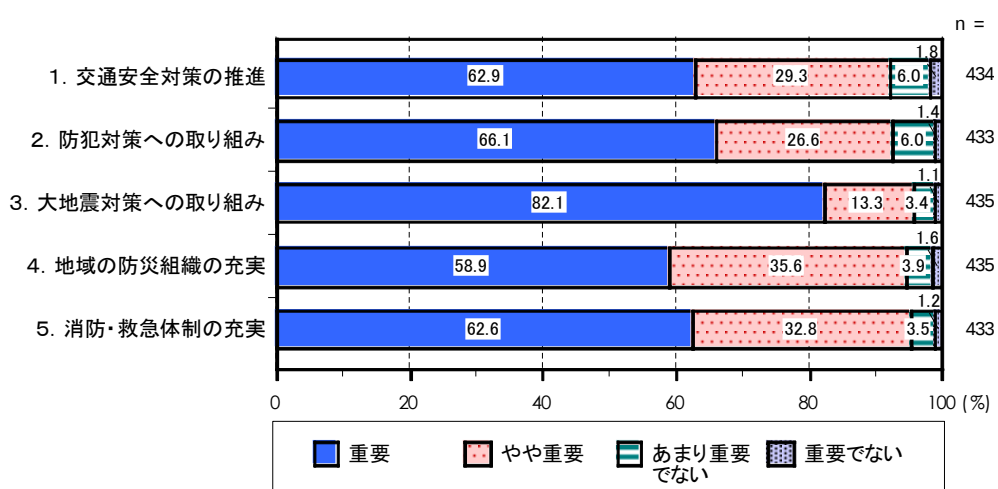


図 4-1-4 重要度（安全・安心対策分野 [無回答を除く集計]）

E. 産業・経済・都市基盤分野

◆「にぎわいの創出と交流人口対策」、「第3次産業（サービス業）の振興」など、商業、観光への重要度が高くなっています。

○全ての項目で重要度が80%を超えており、その中で特に「にぎわいの創出と交流人口対策」についての重要度が92.6%で最も高く、次いで「第3次産業の振興」が92.4%と高く、商業や観光への重要度が高くなっている。なお、問4の必要な定住促進施策として「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」の回答が高かったように、中学生はにぎわいを求めていることがうかがえる。

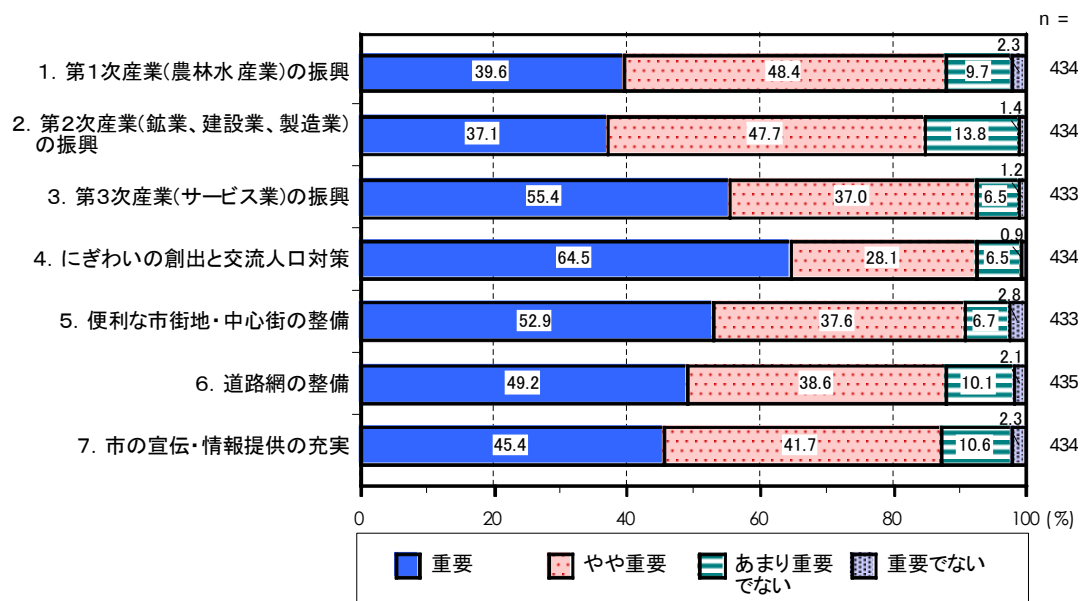


図 4-1-5 重要度（産業・経済都市基盤分野 [無回答を除く集計]）

F. 総合的分野

◆「地域情報化への取り組み」への重要度が高くなっています。

○全ての項目で重要度が75%を超えており、特に「地域情報化への取り組み」の重要度が86.8%で最も高く、次いで「住民自治の活性化」の重要度が84.6%と高くなっている。

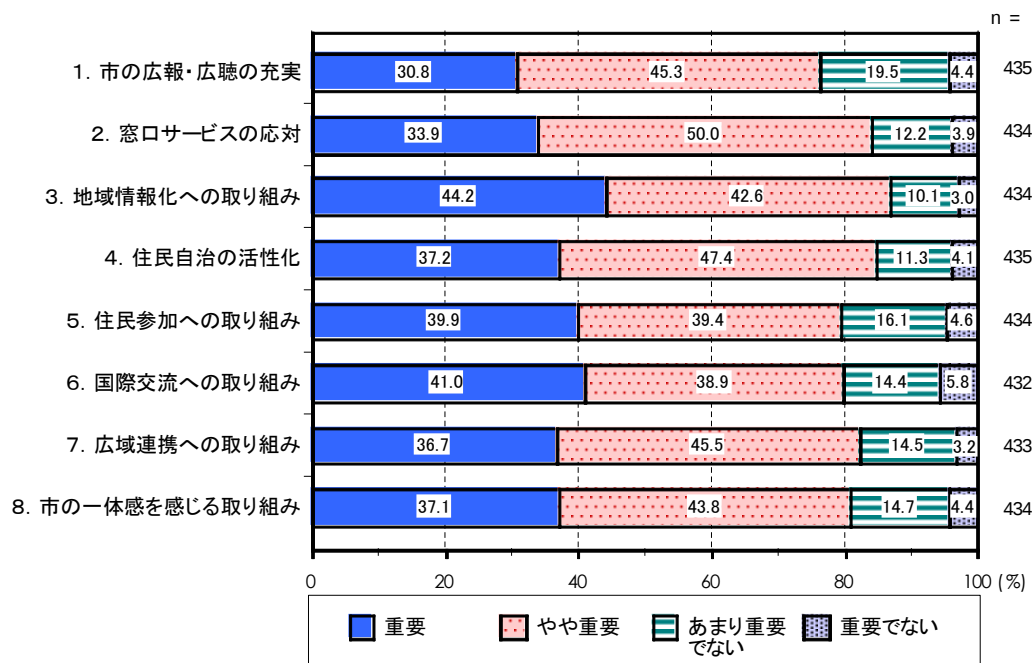


図 4-1-6 重要度（総合的分野 [無回答を除く集計]）

【地区別】

○新城地区では、教育・文化・生涯学習分野の「文化、芸能等の振興、保存」、「文化施設の整備充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツに親しむ環境づくり」、「青少年の健全育成」、安全・安心対策分野の「地域の防災組織の充実」、総合分野の「住民参加への取り組み」、「国際交流への取り組み」、「広域連携への取り組み」などが市平均よりも下回っている。

○鳳来地区では、全ての項目で市平均を上回っている。

○作手地区では、生活・環境分野の「暮らす場の整備」、「安全な水の供給」、「衛生的な下水・雨水の処理」、産業・経済・都市基盤分野の「第2次産業の振興」、「第3次産業の振興」、「便利な市街地・中心街の整備」、「市の宣伝・情報提供の充実」などで市平均を下回っている。

※図内の棒グラフおよび数値は地区の重要度を、折れ線グラフは中学生全体の重要度を表している

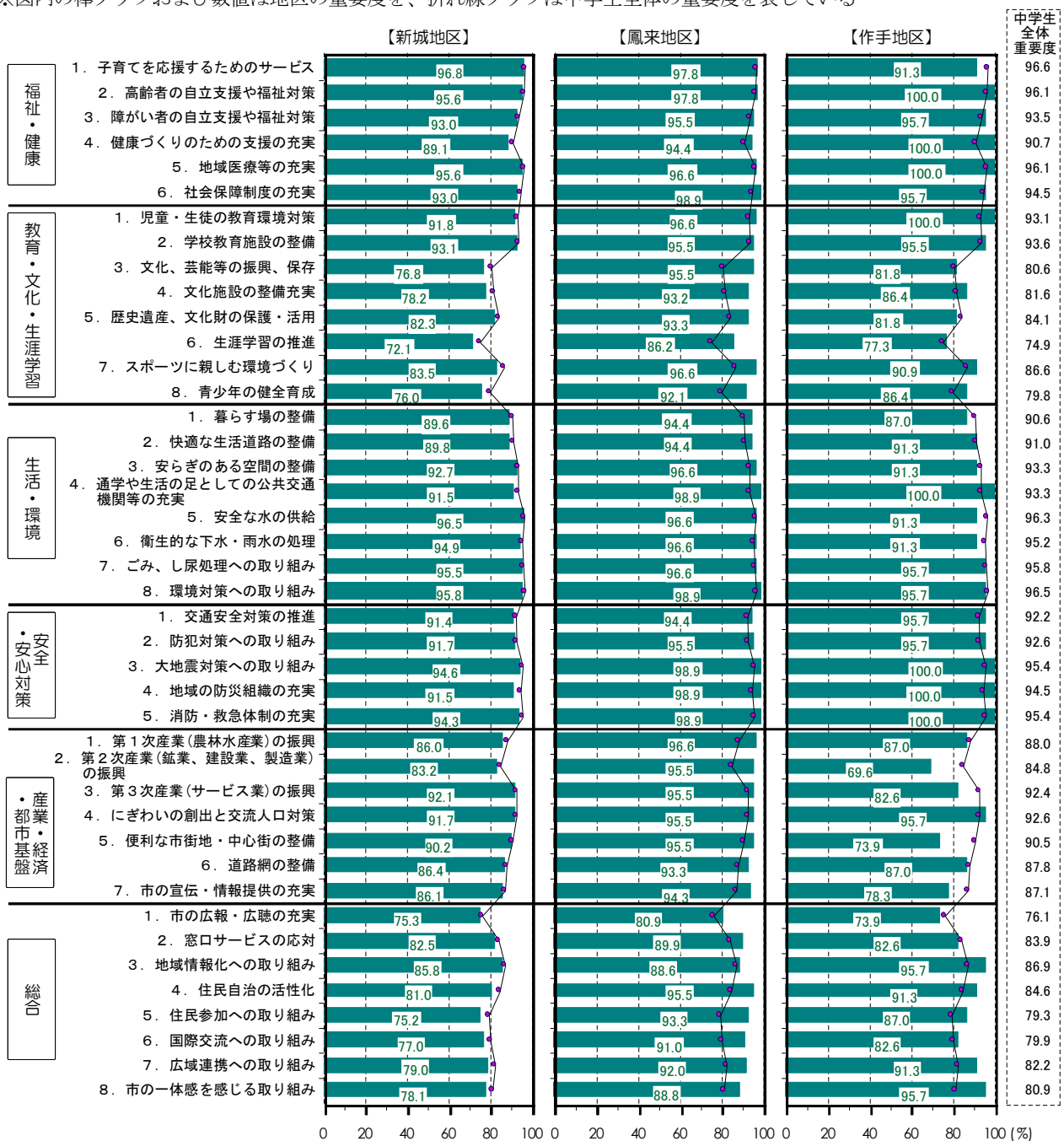


図 4-1-7 公共サービスに対する重要度（地区別 [無回答を除く集計]）

【性別別】

○男性では、教育・文化・生涯学習分野の「生涯学習の推進」、安全・安心対策分野の「地域の防災組織の充実」、総合分野の「市の広報・広聴の充実」、「住民参加」、「国際交流への取り組み」などで市平均より下回っている。

○女性では市平均を上回っているものが多いが、教育・文化・生涯学習分野の「スポーツに親しむ環境づくり」、生活・環境分野の「安全な水の供給」、産業・経済・都市基盤分野の「第2次産業の振興」で市平均より下回っている。

※図内の棒グラフおよび数値は性別別の重要度を、折れ線グラフは中学生全体の重要度を表している

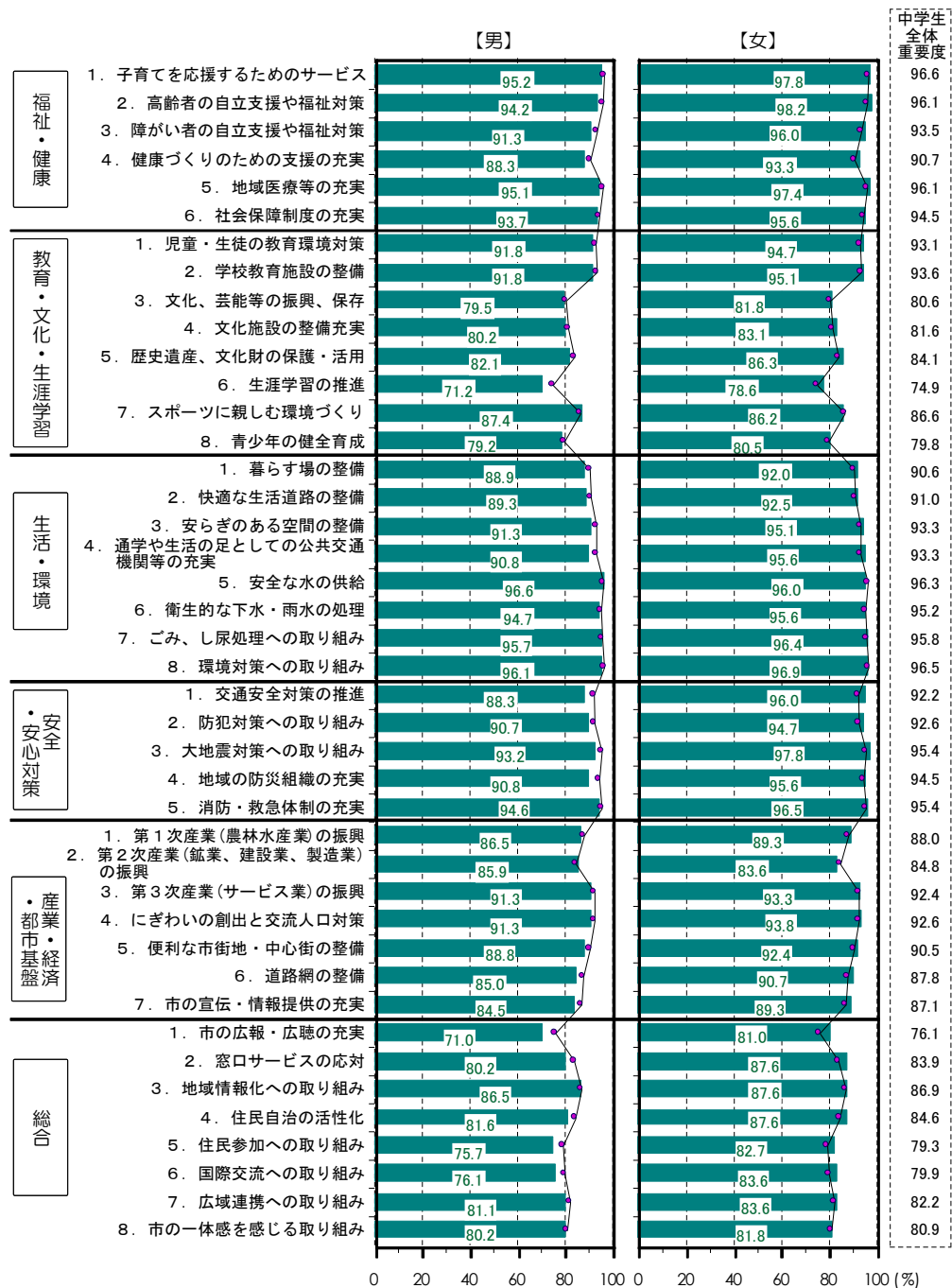


図 4-1-8 公共サービスに対する重要度（性別 [無回答を除く集計]）

第5章 市のこれからのまちづくりについて

1. 新都市の将来の姿

問8 新都市が将来どのようなまちになったらよいと思いますか。3つまで○印をつけてください。

◆「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」が多くの人に望まれています。

○将来の新都市のまちとして、「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」が59.5%でも最も高くなっている。次いで「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」が41.2%、「ごみや公害のない清潔・快適なまち」が30.8%となっており、自然や環境を大切にするまち、健康に暮らせるまちを中学生が求めている。

○前回調査と比較して、「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」が70.7%から59.5%へ11.2ポイント低下し、一方で「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」が24.3%から41.2%へと16.9ポイント上昇しており、健康で暮らせるまちを求める中学生が多くなってきている。

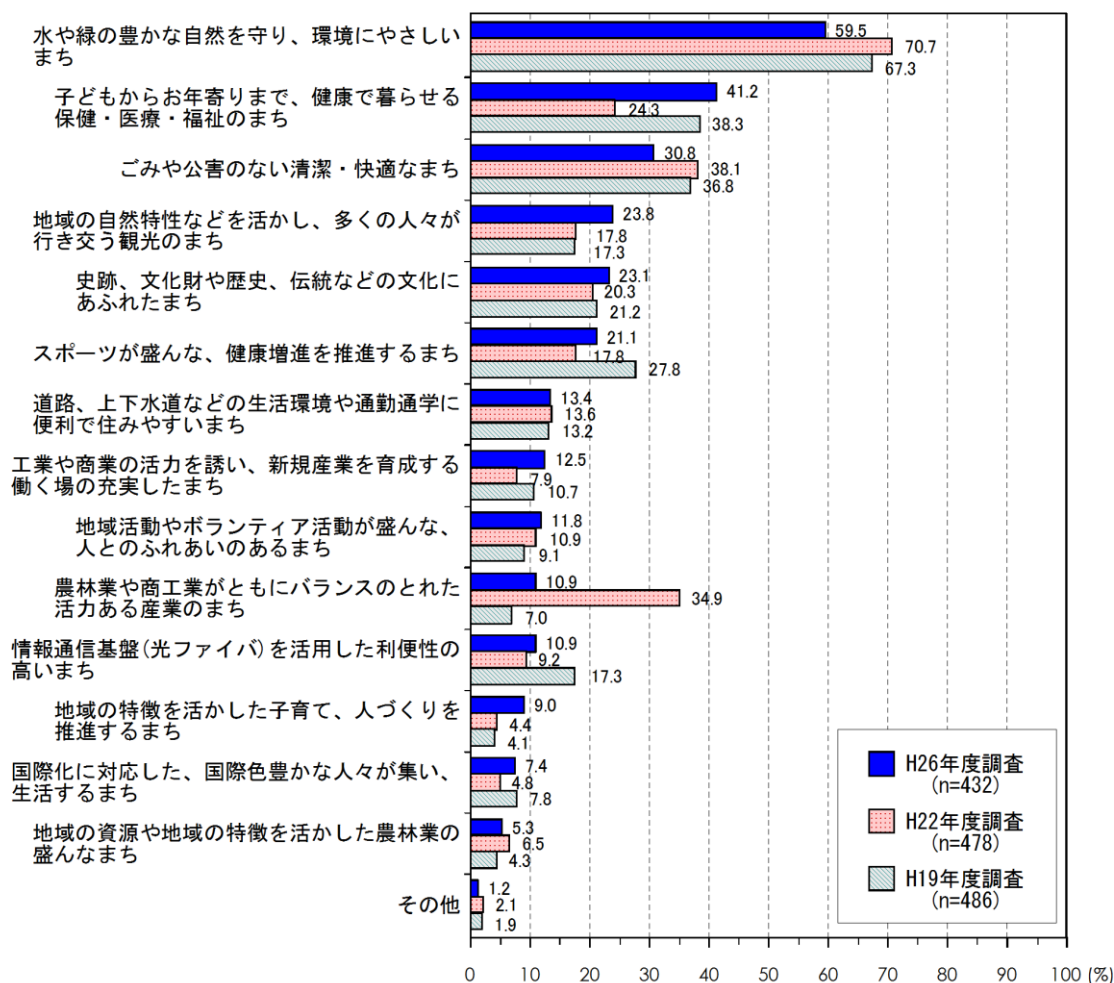


図 5-1-1 希望する新都市の将来の姿 [無回答を除く集計]

【地区別】

- 新城地区では、市平均と比べて大きな差異は見られないが、「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」、「ごみや公害のない清潔・快適なまち」が、他地区に比べて高くなっている。
- 鳳来地区では、「史跡、文化財や歴史、伝統などの文化にあふれたまち」、「地域活動やボランティア活動が盛んな人とのふれあいのあるまち」、「スポーツが盛んな健康増進を推進するまち」が、他地区に比べて高くなっている。
- 作手地区では、「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」、「地域の自然特性などを活かし多くの人々が行き交う観光のまち」、「地域の特性を活かした子育て、人づくりを推進するまち」、「地域の資源や地域の特性を活かした農林業の盛んなまち」などが他地区に比べて高く、地域の特性を活かしたまちにしていきたいことを望んでいると思われる。

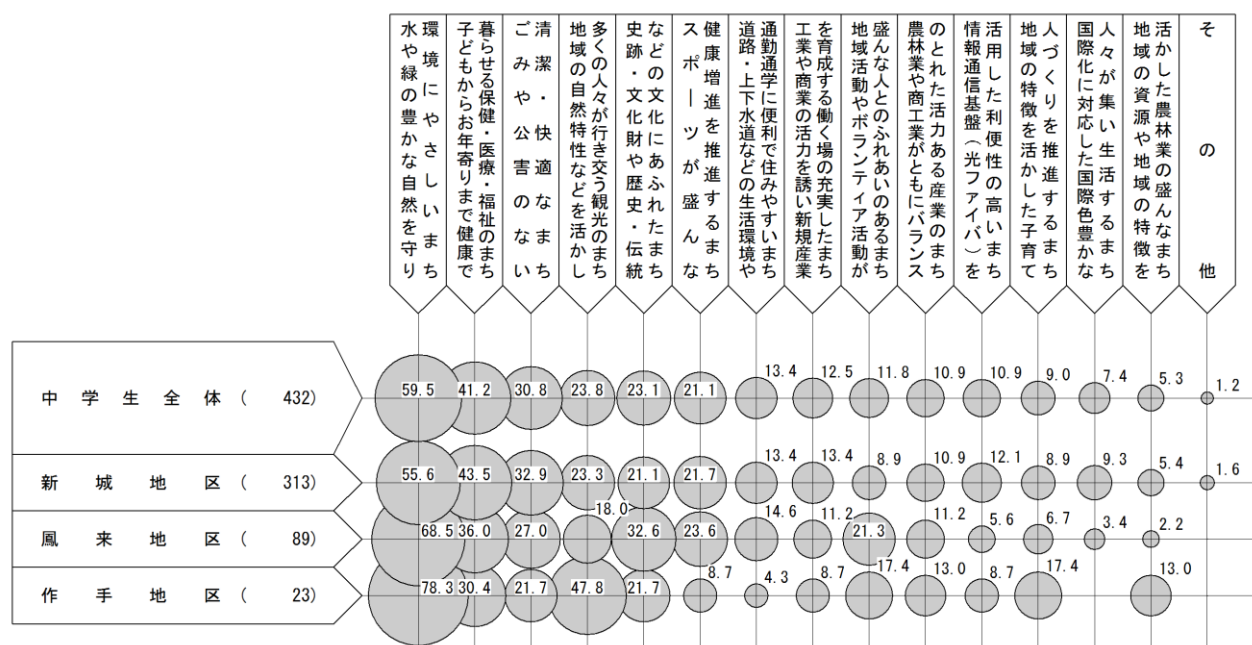


図 5-1-2 希望する新都市の将来の姿（地区別 [無回答を除く集計]）

1-2. 利用したい情報サービス

問8-2 問8で14.を選択された方にお聞きします。身近で利便性を感じられる情報システム（Webサービス）の展開において、どのようなサービスを利用したいと思いますか。3つまで○印をつけてください。

◆情報システムを活用し、公共施設の予約を行いたい人が多くなっています。

○問8で「情報通信基盤（光ファイバ）を活用した利便性の高いまち」と回答した人（47名）に対して、情報システムとして利用したいサービスを尋ねたところ、「公共施設予約」が32.6%で最も高く、自宅等から施設予約ができる利便性を求めている。

○次いで、「防災・防犯支援」が30.4%となっており、緊急時の情報に対するニーズが高くなっている。その他、「子育て支援」、「図書館高度利用」がそれぞれ28.3%、「まちづくり支援」が21.7%となっている。

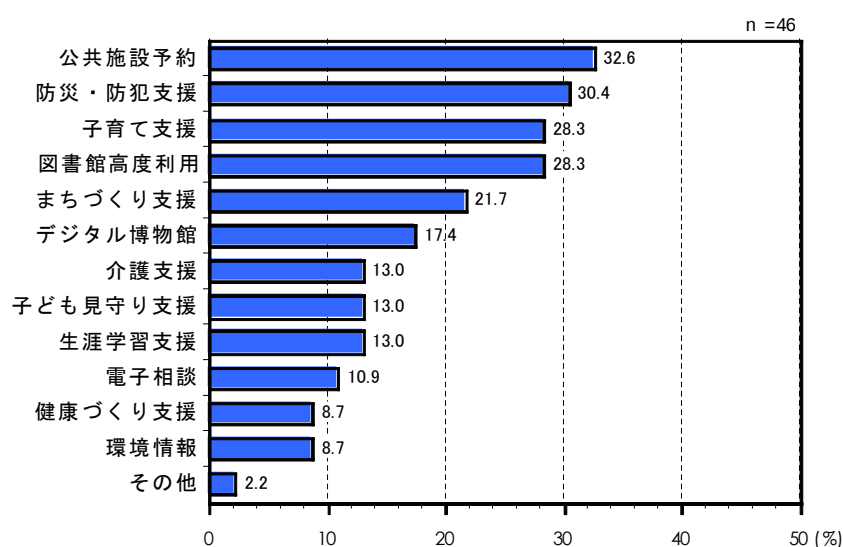


図 5-1-2-1 利用したい情報サービス [無回答を除く集計]

2. 将来への不安

問9 あなたは住んでいる地域の将来に対して、不安を感じているものがありますか。
3つまで○印をつけてください。

◆過疎化、少子高齢化を不安として考えています。

○将来への不安として、「地域に人が少なくなる」が64.5%で最も高くなっている。前回調査と比較して43.1%から64.5%へと21.4ポイント上昇している。次いで「少子化と高齢化の進行」が47.1%で、これも前回調査と比較して35.5%から11.6ポイント上昇しており、過疎化、少子高齢化を多くの中学生が不安と考えている。

○また、「就職場所の減少」が35.5%、「バス、電車の減少」が27.3%と、将来の就職や通勤・通学等などに影響が出ることに不安を感じている。

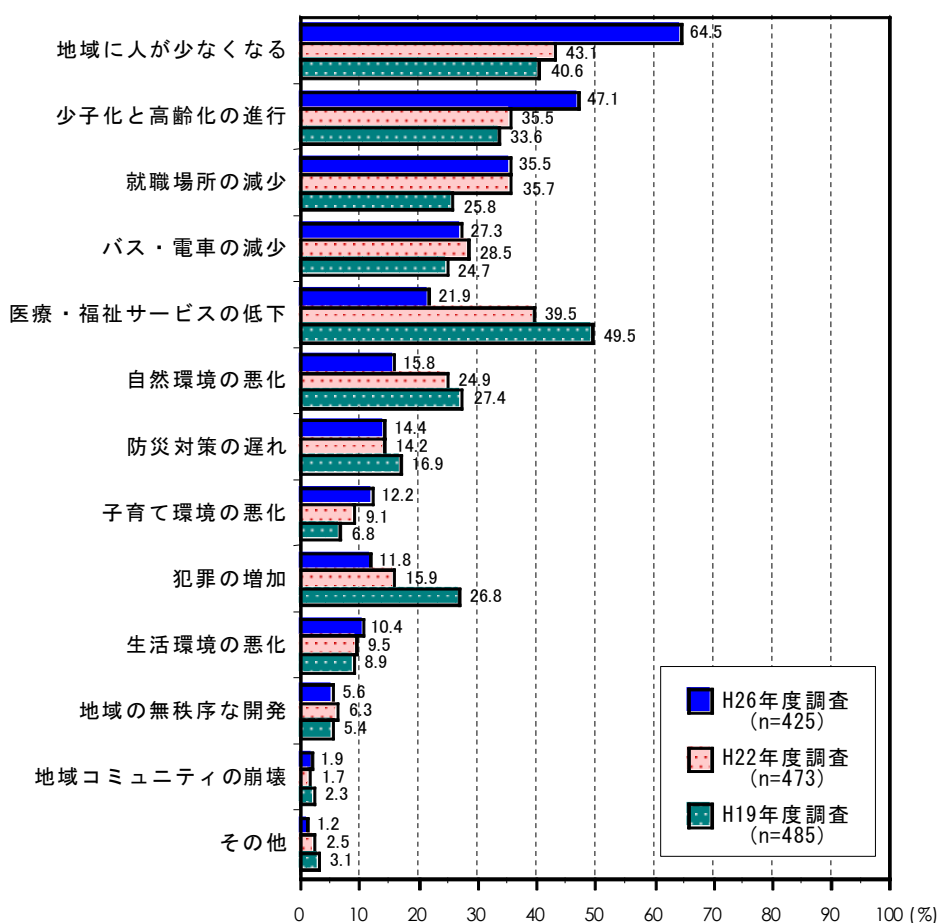


図 5-2-1 将来への不安〔無回答を除く集計〕

【地区別】

○新城地区では、「医療・福祉サービスの低下」との回答が他地区に比べて高くなっている。

また、「自然環境の悪化」、「子育て環境の悪化」、「生活環境の悪化」も他地区に比べて高くなっている。

○鳳来地区では、「地域に人が少なくなる」との回答が他地区に比べて高くなっている。また、「少子化と高齢化の進行」、「就職場所の減少」も他地区に比べて高くなっている。

また、「少子化と高齢化の進行」、「就職場所の減少」も他地区に比べて高くなっている。

○作手地区では、「バス・電車の減少」、「防災対策の遅れ」、「犯罪の増加」、「地域の無秩序な開発」が他地区に比べて高くなっている。

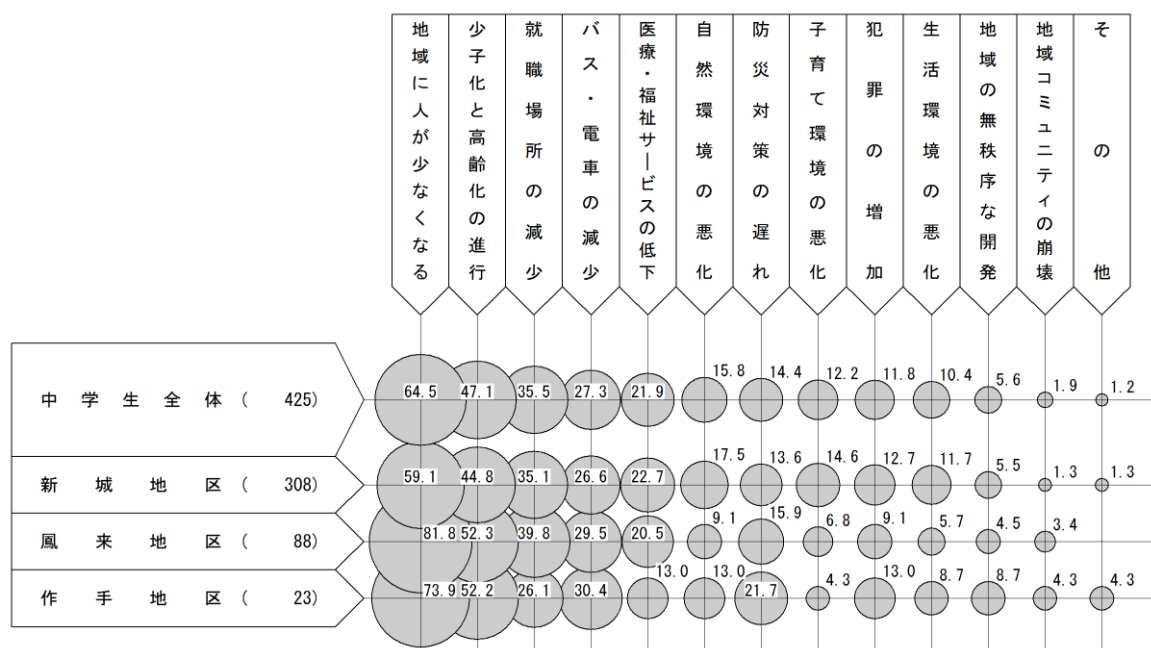


図 5-2-2 将来への不安（地区別 [無回答を除く集計]）

3. 新城市の魅力

問 10 あなたが、おすすめの新城市の魅力、または、今後の新城市をPRするために効果的だと思うものを3つまで○印をつけてください。

◆豊かな自然や歴史文化、それらを生かしたイベントを新城市の魅力と感じています。

○新城市の魅力については、「滝、清流、湿原、山、森林、温泉などの地域資源」が 58.8%で最も高く、豊かな自然を新城市の魅力と考えている中学生が多くなっている。

○次いで、「さくらまつり、もみじまつり、つくで祭りなどの季節を活かしたイベント」が 57.6%、「長篠城址・設楽原などの史跡や、のぼりまつりなどの歴史的背景を活用した行事」が 47.1%となっており、豊かな自然や歴史文化を活かしたイベントを新城市の魅力と捉えている中学生が多くなっている。

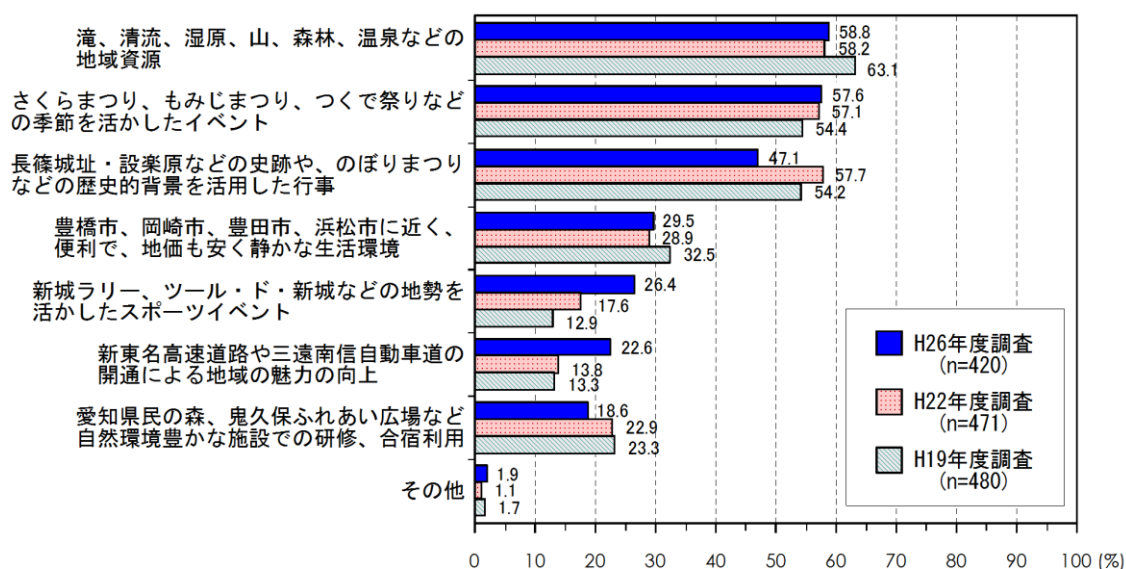


図 5-3-1 新城市の魅力・PRポイント [無回答を除く集計]

【地区別】

○新城地区では、「新城ラリー、ツール・ド・新城などの地勢を活かしたスポーツイベント」「新東名高速道路や三遠南信自動車道の開通による地域の魅力向上」が他地区に比べて高くなっている。

○鳳来地区では、「滝、清流、湿原、山、森林、温泉などの地域資源」や「長篠城址・設楽原などの史跡や、のぼりまつりなどの歴史的背景を活用した行事」、「豊橋市、岡崎市、豊田市、浜松市に近く、便利で、地価も低廉な静かな生活環境」が他地区に比べて高くなっている。

○作手地区では、「さくらまつり、もみじまつり、つくで祭りなどの季節を活かしたイベント」、「愛知県民の森、鬼久保ふれあい広場など自然環境豊かな施設での研修、合宿利用」が他地区に比べて高くなっている。

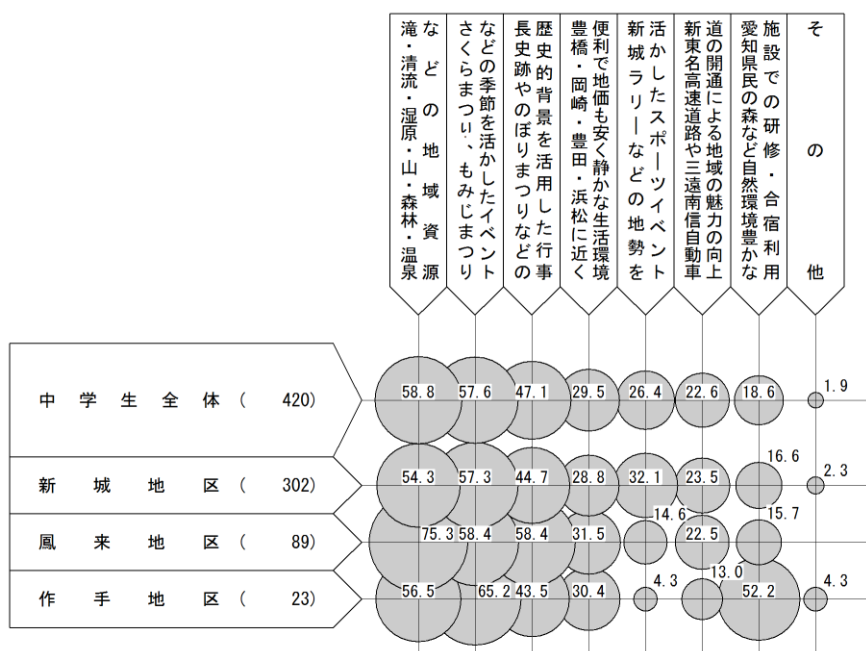


図 5-3-2 新城市の魅力・PRポイント（地区別 [無回答を除く集計]）

第6章 新東名高速道路のIC設置による変化について

1. 期待すること

問 11 新東名高速道路のインターチェンジ（IC）が市内にできることで、新城市はどのように変わるとお考えですか。期待することと、不安に思うことについてご自由にお書きください。

○新東名高速道路のインターチェンジが市内にできることでの期待は、観光客が増加することなど、観光面での期待が最も多くなっている。次いで、まちの活性化、発展、定住者の増加など、快適に暮らせるまちになることを期待している。さらに、移動の利便性が高まるなどの交通体系の面を期待している。

表 6-1-1 IC設置による変化で期待すること

	意見数
観光	179
観光客が増加すること	95
知名度があがる	38
新城市の良さ、観光情報の発信	18
観光により地域が活性化されること	17
来訪者が増えることでの増収	5
イベントが盛んになる	4
名物・特産品の開発	1
その他	1
快適に暮らせるまち	86
まちの活性化、発展	47
定住者の増加	34
住環境が良くなる	4
定住者の増加(ベッドタウン)	1
交通体系	45
移動の利便性	42
道路整備	3
産業	33
商業の振興	13
経済効果	7
企業誘致に期待	5
地元産業の活性化	3
商工業の活性化	2
物流の発展と相乗効果	2
雇用の促進に期待	1
自然環境の保全	4
広域連携・交流	2
市民交流	1
多文化共生	1
文化・教育・スポーツ	1
その他期待すること	1
その他(期待なし)	11
計	365

※回答は 339 人から 365 の意見がありました。

2. 不安に思うこと

問 11 新東名高速道路のインターチェンジ（ＩＣ）が市内にできることで、新城市はどのように変わるとおもいますか。期待することと、不安に思うことについてご自由にお書きください。

○新東名高速道路のインターチェンジが市内にできることへの不安は、交通事故の増加、治安などの安全対策が最も多く、次いで乱開発やそれともなう自然環境の問題、排気ガスなどの公害など、自然環境の保全について懸念している人が多くなっている。

表 6-2-1 ＩＣ設置による変化で不安に思うこと

	意見数
安全対策	144
交通事故の増加	110
治安	34
自然環境の保全	80
乱開発やそれともなう自然環境の問題	45
排気ガスなどの公害	35
交通体系	40
交通量の増加、渋滞	35
道路整備の必要性	5
快適に暮らせるまち	36
騒音	24
人口減少	6
住環境の悪化	2
来訪者のマナー	1
定住につながらない	1
その他	2
廃棄物対策	33
ゴミの増加、ポイ捨て	33
観光	13
ストロー現象の懸念	6
利用者が増えない	3
観光客が来ない(資源が乏しい)	3
その他	1
産業	6
商工業が発展しない	3
雇用	2
消費者の流出	1
青少年健全育成	1
福祉	1
その他不安に思うこと	3
インターチェンジができてても変化がないこと	1
その他	2
その他不安に思うこと(行政)	2
財政運営	2
その他(不安なし)	14
計	373

※回答は 329 人から 373 の意見がありました。

第7章 その他 自由記述

1. その他

問12 最後に、まちづくりについてのご意見やアイデアがありましたら、ご自由にお書きください。

○総合計画や市政に対するご意見やアイデアとしては、駅周辺の活性化や企業誘致などの商工業の振興についての意見、地域資源を活かした観光戦略などの観光振興についての意見など、多分野から意見が寄せられている。

表 7-1-1 総合計画や市政に対するご意見やアイデア

	意見数
市民参加・協働体制	4
情報発信と共有	2
市民ニーズの把握	2
広域連携	2
市民活動	3
市民交流	13
観光	38
地域資源を活かした観光戦略	25
PR	12
考案	6
名産や商品の開発	2
道の駅	1
新名所の開発	4
観光施設の整備	1
その他	12
地域情報通信基盤整備	1
農業	1
商工業	53
駅周辺の活性化	35
企業誘致	18
人口増、雇用への期待	7
大型店の誘致	10
その他	1
交通体系	14
公共交通	8
鉄道	4
バス	4
道路整備	6
道路整備	6
都市環境整備	30
公園、墓園整備	24
住宅整備、定住	5
その他	1
歴史文化財	5
歴史文化財の継承、保存	5
教育	8
学校教育	8

生涯学習		9
	文化・芸術	1
	スポーツ	8
地域医療		9
	地域医療の充実	9
	市民病院	3
	救急体制の整備	1
	地域医療の充実	5
子育て		1
	子育て支援	1
福祉		1
	高齢者福祉	1
安全対策		5
	防犯	1
	交通安全	4
地域の自然環境の学習		2
自然環境保全		19
	森林等自然環境の保全	19
廃棄物処理		7
	循環型社会への取り組み	1
	廃棄物の適正処理	6
	産業廃棄物処理施設について	2
	廃棄物の適正処理	4
まちづくりに対する意見		11
	人口増につながるまちづくり	3
	提案	2
	その他	6
行政経営		9
	財政運営	9
	新庁舎建設について	5
	その他	4
計		245

※回答は 207 人から 245 の意見がありました。